

会 議 録

1. 会議名

第8回仙北地域協議会

2. 議題（公開・非公開の別）

(1) 仙北地域振興計画の策定について（公開）

3. その他

(1) 仙北地域の自治会連携組織の立ち上げについて

(2) 市長との意見交換について

(3) 協議会委員の再任について

4. 開催日時

平成21年1月22日（木） 午後7時より

5. 開催場所

仙北庁舎「第1会議室」

6. 傍聴人の数

0人

7. 出席したものの氏名

委 員：佐藤力哉、熊谷政子、池田武、大澤隆夫、黒澤三郎、小松田有佳、
小柳都、佐々木忠雄、佐藤昇、進藤豊和、進藤勇吉、竹村正資、
千葉嗣助、戸澤龍悦、原松男、茂木保治
(委員16名の出席、欠席2名)

仙北総合支所：佐藤支所長、小西地域振興課長、熊谷地域振興課参事、
小林市民課長、鈴木農林振興課長、佐藤建設課長、
檜尾教委仙北分室長、板先健康増進センター仙北分室副主幹
皆川地域振興課主幹、池田同課主任

8. 発言内容

小西地域振興課長

【開会】

池田佐喜男委員、小林千歳委員からの欠席の届けを報告し、第8回
仙北地域協議会の開会を宣告

佐藤会長

【会長あいさつ】

あらためまして本年もよろしく申し上げます。昨年来の経済不況に対する国・県そして地域の行政の対応が整ってきたと見受けられます。

昨日は、オバマ大統領が就任しまして、大変大きな報道がされています。Yes we can. We can change. と、彼が言っています、今のアメリカから発した不況に対してチェンジしなければいけないということを盛んに言っております。日本もこの不況の中で変革、改革していかないと今後の情勢によっては対応できないこともあるのかなあと思っています。

また、自分の会社をみていると、不況のせいもあるかもしれませんが、少しずつ売上げが落ちていく中で、この不況のときに売上げが落ちる原因は何なのか、あらためて見直すことによって、マイナス部分を変えることによってプラスに変えていくということを密かに考えているところです。オバマが言っているWe can change. のchangeのgをcに変えるとchanceということで、変革はチャンスなんだと考えてやっぺいこうかなと思っているところです。皆さんもより良くなるようにと思っています。

行政も、地域協議会も、少しずつ変えていかないことには、今後の新たな4年間の道筋が整わないと思います。今日も振興計画があります。これがこれからの4年間またその後も続けてやっぺいいくわけですが、これをチャンスにして、さらに良い地域に行政が出来るように皆さんの協力をお願いします。

小西地域振興課長

続きまして、総合支所長からお願いします。

佐藤支所長

【支所長あいさつ】

皆さんにはお忙しいところ出席いただきまして、ありがとうございます。振興計画につきましては、皆様からのお陰をもちまして計画の集約ができ素案が出来上がったところです。本日は、その素案についてのご確認やご意見を申し上げます。

早いもので、委員の皆様の任期も4年を終えようとしております。このあと、そのことについてのお願いもありますので、よろしくお願いします。

小西地域振興課長

ありがとうございました。それでは、規定により会議の進行につきましては会長からお願いします。

佐藤会長

それでは、会議録署名委員を指名します。大澤隆夫委員と佐藤昇委

員をお願いします。

続いて、議事に入ります。本日の議事の内容は、仙北地域振興計画の策定について、です。予め皆さんのお手元に資料が配付されております。これについて、皆川主幹から説明をお願いします。

皆川主幹

【仙北地域振興計画案により説明】

佐藤会長

計画案の中身について、委員のご意見を伺いたいと思いますが、始めに17ページで検討しなければならい部分がありましたが、もう一度説明してください。

皆川主幹

(2) 安全で安定した水質と水量(上水道の整備)については、Bグループで検討しましたが、この分野については、市が整備すべきことが大半で市民等が進める取組みということについては、現段階でどのようなことが考えられるか苦労したところです。グループ検討では結論が出なかったもので、この部分に何か取組み事項を入れるか、またはこのまま空欄にするか、あるいは市民等が進める取組み事項を削除してしまうか、という判断をお願いしたいということです。

池田(武)委員

行政だけの取組みというだけではなく市民自体も考えなければならないことだとは思いますが、かといって何があるかといわれればなかなか難しいところです。

佐藤会長

上水道ばかりでなく簡易水道のこともあります、その辺はどうだろうかということもあります。

茂木委員

上水道はアンケートをとったはずで、市の計画でこのようにしたいから協力してほしいというのは判るが、市民の側で盛り上がってから市が動く事業というのとは違うような気がします。

佐藤会長

そういう意味では削除の方がよいでしょうか。

原委員

私達ができるというのは、個々でどういう水を飲んでいるか、市が知りたい水質調査に協力することはあるだろうが、ただ私達のところでは上水道ではないわけで、水道計画というのは全体を含んだ形で進められるのか、簡易水道組合で運営されているところは今のままなのか、教えてもらいたい。

熊谷副会長

水質の良くない払田の水道組合では住民誰も水質が悪くなくて困っていたものですから、市の計画では最初に着手してくれる枠組み

の中に払田が入っていたと記憶しています。これが有無を言わずにもうすでに入ってしまうのか、良い水の供給には諸手を挙げてありがたいですが、伴うところの出費というのが私達の中ではネックです。そこに普及率を高めることへの取組みと書いてあれば、その通りかということで、最初に払田へ話がきたときに私達が拒んだりしたら、みっともないかなとも思ったりもして、それくらい水道料金の急激な高騰には戦々恐々としているところです。それでも市から管理監督していただく水質の検査なども含めて、いずれは入らなければならないと思っていますが、水道計画の長期展望というのは、どうなっているのでしょうか。

佐藤建設課長

28年度までの計画は出来ております。

佐藤会長

市民が進める取組みで、水道未普及地域は地下水を使っているので持続可能な地下水の検討への取組みということも考えられます。

佐藤建設課長

簡易水道計画は、水道未普及地域も含めて計画することになっています。ただ今回参考にしていただきたいのは、アンケートの結果で早急にやってほしいというところが含まれていますので、大仙市の中では唯一仙北地域が突出して水質が悪かったということで、早急に取りかかることの要望があり、戸地谷地区はいまやっていますが、そこが終了し次第、東部地区に事業を向ける計画です。

佐藤会長

判りました。この部分については、敢えて入れる必要もないとも感じますが。

熊谷参事

ないのであれば、市民等が進める取組みを除いてもいいと思います。

佐藤会長

協働で進める取組みに、市民等の意見が入ると思うので、なくても良いとは思いますが。

佐々木委員

市民等が進める取組みにあたるかどうか判りませんが、現状のままです。市の水道を使用した場合、水圧の関係で漏水が発生する可能性があります。市の水道に接続する前に、各家庭で圧力試験をして自分の家の水道設備の補修を事前しておく必要もあると思います。

佐藤会長

使用している最中でも漏水はあるので、個人の管理は必要かもしれませんね。

佐々木委員

いままでも簡易水道から市の水道にした場合に漏水が発生している

のは私の家だけではなく他にもあります。

佐藤会長

なかなか良い視点かと思えます。漏水は必ず起きます。確か、市の広報には自分で点検できる方法が掲載されていました。家中の水道栓をすべて閉めてからメータを見てメータが回っているかどうかで確認するそうです。そうした「もったいない精神」を持った対策として書いてもやぶさかではないと思えます。

戸澤委員

私は、この件については、あまりピンときません。私の地域では、簡易水道ではなく井戸水であるため、アンケートをみても水道が必要という意見が多くなく、市民が進める取組みとしては、地域内の温度差ということもあって、必ずしも必要ではないと思えます。

千葉委員

私は、基本的にはこの案でいいと思えます。話が上水道になっていきますが、若干別な角度でお話ししますと、あのアンケートそのものが1回か2回で終わって、それが元になって、この前の説明会の基本になっています。ですから、下払田は計画区域になっていますが、上払田は除外地域です。ここら辺の将来的な計画が判らないのです。そういう意味で、ここはこのままにしておいた方がいいのではないかと思います。

進藤（勇）委員

これまでは、地下水が良いところは簡易水道で、悪いところは上水道ということで、大曲から供給してもらっていると思っていました。簡易水道の地下水は無限ではないと聞いていますが、上水道が必要どころもあって、簡易水道を持続していきたいという地域もあるとすれば、市民等が進める取組みの項目はあってもいいのではないかと思います。

佐藤会長

皆さんから、いろいろなご意見が出ましたが、皆さんの総意で意見をまとめたいと思えます。上水道未整備地域と、これからも上水道が行かない地域の住民のために、もしかしたらこの項目があることによって可能性が繋がるというニュアンスもあるので、この項目は残しておいた方が良くとも思えます。

皆川主幹

実は、この他にも空欄の個所が16ページにもありまして、雇用の安定、就労の促進としての協働で進める取組みや市民等が進める取組み、そして、道路の整備における市民等が進める取組みについては、この振興計画で検討は試みたものの具体的な取組み事例に至らなかったということで、今後の社会情勢によって見直しをするということで、今回は項目のみを残すことでは、いかかでしょうか。

佐藤会長	企業誘致では、私も個人的に働きかけをしているところもあって、こうした項目も残しておいてもいいのかなとも思います。そういうことで、これらについては、このまま項目を残すことで良いでしょうか。
委員全員	【全員異議無し】
佐藤会長	その他に何かありますか。
進藤（豊）委員	いま説明を受けたので大体了解しました。流れが変われば市民の側も対応していかなければならないことは出てくるかと思いますが、そのための残すことで良いと思います。
佐藤（昇）委員	上水道に関しては、これからまだまだ取組む場所があると思いますので、あまり早めに先取りするのではなくて市民の意見も聞きながらやっていってほしいと思います。
小松田委員	空欄のところは空欄のまま、もし、こういうものへの取組みが必要になったときはそのとき考えればいいので、このままで良いと思います。
小柳委員	わかりやすい文章になったと思いました。これからは、やはりIT関係の情報が盛んになってくると思うので、インターネットを活用した直売所などへの取組みやリーダーとなる人の確保も必要ではないかと考えていましたので、これで良いと思います。
佐藤会長	その他にありますか。なければ、これで成案としますが、よろしいですか。
委員全員	【全員異議無し】
佐藤会長	それでは、これで議事を終了します。 次に、その他に移ります。始めに、仙北地域の自治会連携組織の立ち上げについてです。 熊谷参事からお願いします。
熊谷参事	これは、報告でございます。仙北地域の自治会連携組織の立ち上げについてです。前々からお話しがございました自治会連合会の立ち上げということでございます。1月20日に自治会会長の方々からお集まりいただき、4月に向けて立ち上げるということになりました。進

め方については、設立準備会を組織して、準備会委員6名を20日にお願いしましたので、ご報告いたします。

佐藤会長

20日に自治会代表者の皆さんから集まっていただいて、4月に向けて立ち上げるということですので、一歩前進したと思います。

次に、市長との意見交換について、熊谷参事から説明をお願いします。

熊谷参事

これは、お願いでございます。毎年開催しております市長との意見交換を行うため3月25日に仙北地域協議会の開催をお願いできないかということです。時間は午後3時からを予定しておりますが、皆様のご都合をお聞かせください。内容としましては、いまご協議いただきました仙北地域振興計画の内容を市長へ説明するほか、皆様から提案があればそれを説明していただき、あるいはフリートークというような形で自由にお話をするのであれば、それでも結構です。意見交換の内容につきましては、3月25日前に協議会を開催して検討していただきます。

佐藤会長

私は、その日出張の予定が入っております。

熊谷参事

そうしますと3月23日の午前はいかがですか。

佐藤会長

その日は大丈夫です。

熊谷参事

それでは、この日で本庁と日程調整をさせていただきますが、皆さんには3月23日（月）午前10時からということで予定させていただきますようお願いいたします。変更がありましたら再度検討させていただきます。

佐藤会長

皆さんよろしいでしょうか。そうしますと3月23日午前10時からということでお願いします。

次に、協議会委員の再任について、お願いします。

熊谷参事

以前に副市長が皆様にお願ひしたことでございますが、今年の3月で委員の任期が切れるわけですが、副市長から引き続きお願ひできないかというお話してございました。市長からも引き続き皆様方にお願ひしたいということでございましたので、大変ご難儀をおかけしますが、もう4年間よろしくお願ひしたいということでございます。

佐藤会長

ということですが、この件につきましては個々に対応してください。

ほかになければ、これで第8回仙北地域協議会を終了します。ありがとうございました。

【午後8時20分閉会】

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員
